

おうち

第23号
2013.9

テーマ

「うちの子の 気になるところ」



「ともだち」 かさい ほのみ さん (年長)



「ぶーぶーのおべんとう」 かさい ゆうせい さん (年少)

「気になる」

栃木県総合教育センター幼児教育部長
栃木県幼児教育センター長

田淵 光与



娘が三歳の頃のことです。一方的に自分の思いをまくし立てるのですが、何を話しているのかわからない。時々「うふふ」と、首を少し傾け手の平を口に当て笑うのは、祖母の真似でしょうか。

こちらの問いかけには応じず、一方的に話すところが気になって仕方ありませんでした。

自己中心的？十分に話を聞いてあげていないせい？うるさく指示しすぎ？どうしたらいいのか、母親である私は困り果てていました。

今では、笑い話のような思い出です。三歳と言えば、ため込んだ言葉を使うようになって、うれしくて一生懸命外に発する時期です。

抛り所がほしくて、副園長先生に相談しました。

「大丈夫、言葉を使うのを楽しんでるのよ。いつまでもそんなにしゃべってはられないから。」思わず笑ってしまいそうなの確なアドバイスはすとんと私の中に落ちました。

振り返ってみれば、子どもが育つ過程で「気になって仕方ない」ところは、私の価値観と娘のそれがずれるところでした。

例えば、私はその都度片付けますが、娘はためてから片付ける。

私は、つらいことは先にやりますが、娘は後に回す。

「気になる」とは、私と娘との関係の中で、私が一方的に「気にしていた」だけの話です。かなり後になってからですが、自分の心もちを変えればいいのだと気が付きました。

私にないものが彼女の中にあり、その逆もしい。

お互い、得意、不得意はあるということ、これからは気にしません。

アンケート

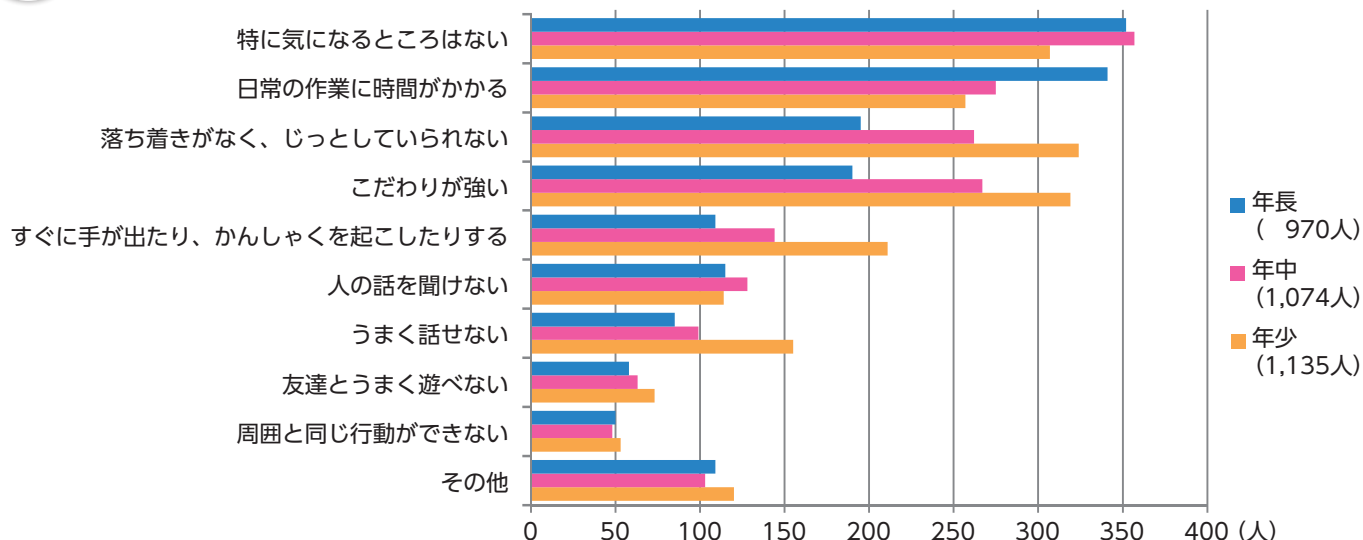
「うちの子の気になるところ」

今回は、「うちの子の気になるところ」について、アンケートに答えていただきました。

(対象：県内の3～5歳の子をもつ保護者 回答数：3,179人)

Q1

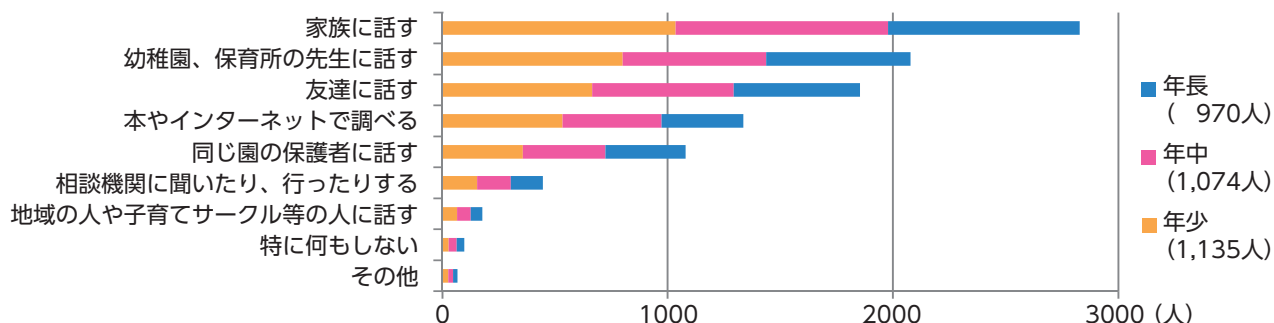
お子さんの気になるところはどんなところですか。(3つまで回答)



○全体的に「特に気になるところはない」という回答が多く、年齢が上がるにつれて「落ち着きがなく、じっとしてられない」「こだわりが強い」という回答が減り、「日常の作業に時間がかかる」という回答が増えています。

Q2

もし、お子さんに気になるところがあったとき、どうしますか。(複数回答)



○どの年齢も「家族に話す」「幼稚園、保育所の先生に話す」「友達に話す」という回答が多いです。



みなさんはどう思う？ (保護者の自由意見より)

うちの子は、お友達とけんかをする
すぐに手を出してしまいます。心配で、
おばあちゃんに相談すると、「仕方ないで
しょ。上手にしゃべれないんだから。手
を出さなきゃならない理由を考えてあげ
なさい!」と、逆に叱られました。

年少のときは、こだわりが強く、言い出し
たら聞かないところが気になっていただけ
ど、年長になったら、着替えや食事が他の子
よりも遅いことが気になってきました。「気にな
るところ」って、年齢とともに変わるんですね。

同じような悩みをもつ「友達」の力
は大きい。「友達」に話をして、
自分の気持ちが落ち着くと、なぜか子
どもも落ち着いてきます。

子どもの気になる
行動を個性ととらえ
ていいのかなあと悩
んでいます。

常に動き回っている息子を、
妻はとても心配していますが、
父親である私は、あまり気にな
りません。自分も小さい頃そう
だったからでしょうか。



集団の中で子どもは育ちます！

長畑幼稚園 教諭 加藤 利枝さん

幼稚園は、集団の中で、子どもが育ち合う場所です。絵描き歌が大好きなAさん。友達とのかかわりが少ないことは一見マイナスに見えますが、私は、絵描き歌に夢中になる姿をAさんの「得意なこと」と捉えました。するとAさんの周囲には自然に友達が集まり、一緒に絵描き歌で遊ぶようになったのです。その子だけがもっているよさ（個性）を見極め、認め、伸ばしていくことが、私たち教師の役目であり、喜びです。お子さんはもちろん、保護者の皆さんの支えにもなれるよう、頑張ります！！



出会い・交流の場を提供します！

宇都宮市立細谷小学校子どもの家
指導員 磯藤 里美さん

子どもの家は、お子さんにとっても保護者の方にとっても「出会い・交流の場」です。親子で楽しく遊びながら、たくさんお友達をつくってください。先日も「うちの子、少食で。」とつぶやいたあるお母さんに、一緒に遊んでいた他の保護者の方から「うちもそうなのよ。」「料理の方法は？」「外で遊んでる？」など、様々なアドバイスがありました。子どもの家は情報の宝庫です。平日の午前10時から12時に開館していますので、ぜひお近くの子どもの家に足を運んでみてください。
※学校の長期休業中は開館しておりません。



「気になるところ」は成長の表れです！

小俣幼児生活園 保育士 大川 繁子さん

体と心をつくる幼児期に大切なのは、「早寝早起き朝ごはん」です。規則正しい生活が健康の源で、これからの生活の素地になります。

また、「気になるところ」は、成長の表れ、すなわちプラス面と捉えます。行動の背景にある思いを読み取って、叱らずに正しい表現の仕方を教えましょう。すると、子どもの意欲、学ぶ楽しさ、さらには自己肯定感が高まります。保育士は、長い時間子どもと接しますので、気軽に相談してください。



お子さんの育ちを一緒に支えます！

特別支援学校早期教育相談室担当
教諭 金子 洋子さん

早期教育相談室は、就学前の発達に心配のあるお子さんとその保護者の方に、相談や支援を行っています。初めて訪れた保護者の方は、「就学が近いのにできないことばかりで不安。」「見え方や聞こえ方が心配。」等、悩んでいることが多いです。相談では、お子さんとの遊びを通して、保護者の方とたくさんお話をします。お子さんは、どんなところに困っているのか、どんなことを学んでいるのかを、一緒に確かめたり共感したりすることで、少しずつ子育てに自信をつけていってくださいます。お子さんの育ちを支えるかわりについて一緒に考えていきますので、地域の相談室にお電話ください。



子育てが楽しくなります！

子育てサロン中央（宇都宮市）
保育士 中里 麻理子さん

子育てサロンは、お子さんと一緒に遊びながら、子育ての悩みを相談したり、情報を得たりできるように、保育士が常に対応し、子育てを応援しています。子育てサロン中央は保健センター内にあり、保健師や栄養士もいますので、日頃の子育ての悩みだけではなく、お子さんの体の成長や健康のことなども気軽に相談できます。みなさんのお住まいの地区にも子育てを応援する機関がありますので、困ったときは訪ねてみてくださいね。

私たちは応援しています！

～話しに来てください！～



幼・保・小・中が連携して応援しています！（野木町）

幼稚園や保育所では、遊びや生活の中で、教職員が子ども一人一人の個性を生かしながら、集団づくりをしています。周囲の大人の温かいまなざしと適切な援助で、子どもは、もてる力を存分に発揮し、自己実現しながら、自分のよさを実感し、自信をもつようになります。

野木町では、幼児期における一人一人に応じた指導と子どもの自信が、小学校でも継続されるように、教育委員会を中心に幼稚園、保育所、小学校、中学校の教職員と一緒に研修を行っています。今回の研修では、「幼稚園や保育所の教育は、どのようなものか」について、みんなで共通理解しました。内容の一部を紹介します。

★知っていますか？幼稚園教育要領・保育所保育指針★

幼稚園は幼稚園教育要領（文部科学省告示）、保育所は保育所保育指針（厚生労働省告示）に基づいて、保育をしています。どのようなことが書かれているかというと・・・、子どもの発達を5つの領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」で捉え、修了までに育つことが期待される心情・意欲・態度が「ねらい」と「内容」として書かれています。

この5つの領域は、小学校の「国語」「算数」等の教科のようなものではありません。例えば、砂遊びに夢中になる子どもは、その中で「砂や水の感触」「数や重さの感覚」「言葉でのやりとり」「順番や約束」等、総合的に様々な力を身に付けているのです。



★参加した先生方からの感想★



幼稚園の先生

どの子どもみんな一緒の場で、共に生活し、共に育ち合えることが幼稚園や保育所のよさだということを改めて感じました。そのよさを生かし、さらに小学校や他の機関と連携しながら、子ども一人一人の成長を支えていきたいと思います。



町の相談員さん

その子が何につまずいているか、困り感そのものを感じ取ってくれる大人がいることが重要なんですね。子どもに丁寧に対応してあげることの積み重ねで、子どもは着々と成長していくのだと感じました。



小学校の先生

入学前に子どもがどのような生活をし、どのように学んでくるかを詳しく知ることができ、よかったです。小学校に入学して、環境が変わっても、一人一人の学びをつなげるよう、幼・保の先生と交流し、相互理解を深めたいと思います。

このように、みんなで「幼児期の教育」について学び、町全体で子どもの育ちを幼児期から支え、小学校、中学校へとつないでいます。保護者のみなさん、お子さんの幼児期は「今」しかありません。幼児期に大切にしたいこと、子育てで大切にしたいことを、ぜひ、幼稚園や保育所の先生方と共有し、お子さんの自信を育ててください。

「100ぴきのいぬ 100のなまえ」



チンルン・リー/さく・え
きたやまようこ/やく
フレーベル館



一緒に暮らす100ぴきの犬には全員違う名前がついています。それは「きょうきょう」「うっかり」「ゆっくり」のように、その子らしいすてきな名前です。

だって、どの子どもみんな私の大切な家族ですから。

★アンケートのお願い★

次回テーマ 「夢をもつ子に・・・」

「おうち」は皆さんの声で構成する幼児教育情報誌です。ぜひ、ご協力ください。アンケートは幼稚園・保育所にお出しく下さい。直接、幼児教育センターへお出しいただいても結構です。

家庭教育ホットライン（保護者専用） TEL 028-665-7867

保護者の皆さん！ お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか？ 秘密は絶対に守ります！ 一人で悩まず気軽に御相談ください！

受付時間 午前8時30分～午後9時30分 毎日（日曜日を除く）

※上記時間以外と日曜日は留守番電話・FAX（電話番号と同じ）で対応しています。

栃木県教育委員会

幼児教育情報誌「おうち」第23号 平成25年9月発行

発行者 栃木県総合教育センター幼児教育部
栃木県幼児教育センター

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

URL : <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

e-mail : yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

※バックナンバーはホームページで読むことができます。

